



## 子どもも大人も興味津々 海洋研究の最前線！

7月22日～27日、たけら美術館文化創造ホールで、竹原貿易港40周年記念行事として、広島大学総合博物館の出前博物館「母なる里海・瀬戸内海く自然と人間生活の共生をめざして」が開催されました。太古の瀬戸内海から発掘されたナウマンゾウの化石やクジラの化石などが展示され、来場者は瀬戸内海の歴史に思いをはせました。

また、7月30日には、港町にある広島大学竹原水産実験所が一般公開され、先生や学生のみなさんの案内で、プランクトンの観察体験や深海生物の展示などが行われました。

参加者からは、「竹原市内に海洋生物を研究する実験所があることを知らなかった。」「海は、みんなで守らなくてはならないので、学ぶ場所があるのは良いこと。」といった声がかれました。

吉名小学校2年の大森健心くんは、「海の生き物に触って楽しかったです。海の生き物の中では、魚が好きです。」と海洋生物に触った感想を話してくれました。

身近な瀬戸内海。みなさん、その魅力をおためて感じたのではないのでしょうか。



## 優雅な舞 観客を魅了

7月31日、市民館でひろしま夏の芸術祭ミニ神楽公演が開催されました。出演は、東山神楽団のみなさん。平均30歳代の若者で構成され、北広島町で活動しています。

演じたのは、「土蜘蛛」と「天神記」の二演目。「土蜘蛛」では、鬼の面が次々変わり、クライマックスの対決シーンで、会場は大いに盛り上がりました。「天神記」では、和歌の掛け合いが印象的でした。太鼓や笛に合わせて優雅に、力強く舞うたび、大きな拍手がわきました。

宮上宜則団長は、「最近の神楽は、古い文化と新しい文化が融合していて面白いですよ。若者が興味をもってくれるのは嬉しいですね。」と話します。

山根秀紀副団長は、「神楽は小さい頃からやっているの、生活の一部のようなものです。」と、神楽の魅力について語ってくれました。

公演後には、観客が衣装を着る体験も行われました。

## 平和の誓い 新たに

8月25日、市民館で、竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典が開催されました。

式典では、参列者全員による黙祷が行われた後、実行委員長の小坂市長による式辞が述べられました。

市長は、「戦争の悲惨さや命の尊さを後世に伝え、恒久平和の実現に尽力する。」と誓いました。

また、広島県遺族会の平田修己会長（竹原市遺族連合会 竹鶴壽夫会



長代読）は、「遺族が減少している中、戦争の悲惨さを風化させることなく、未来に継承していかなくてはならない。」と追悼の辞を述べました。

献花台には多くの花が供えられ、参列者からは「人の命の尊さを改めて感じました。今生きていることに感謝したい。」といった声もあがりました。

平和祈念行事では、コールさざなみの美しい歌声が披露されました。また、吉名中学校3年の坂本祐太さんと宮原舞優さんが、戦争体験者の話を聞いて感じた戦争の悲惨さを訴え、「戦争について、より深く学び、考え、世界平和を築いていく。」と力強く誓いの言葉を述べました。

平和、そして命を守り、つなぐこと。それが今を生きる私たちの務めです。

## 歌とトークに酔いしれる

7月15日、市民館で東日本大震災支援「原田真二チャリティーコンサート」が開催されました。原田さんが竹原市でコンサートを開くのは、今回が初めて。名曲「キャンディー」に合わせて掛け声がかかるなど、会場は熱気に包まれました。



## 知っていますか お酒の造り方

7月30日、竹鶴酒造で杜氏による特別講座が開催されました。これは、市がJR西日本、広島県、尾道市、三原市と連携して行ったキャンペーンの一環。実際に酒蔵を見学し、酒造りの工程を学んだ参加者は、その奥深さに驚きの表情でした。



## ふるさとを元気に！ じゃがワングランプリ

8月1日、吉名町の農家レストラン西野で、じゃがワングランプリが開催されました。今年はスープやケーキなど、32品の創作じゃがいも料理が登場。参加者からは「どれも個性豊かでおいしい」と、笑みがこぼれました。



## みなとまちづくりマイスター誕生

8月4日、みなとオアシスただのうみ協議会会長の小積君生さんが、国土交通省からみなとまちづくりマイスターとして認定され、表彰を受けました。広島県で2人目のマイスターとなった小積さんは、忠海港を核とした地域の活性化に取り組まれています。



## 地域がもてなす夏祭り

7月30日～31日、竹原住吉まつりが開催され、多くの来場者で本川沿いが熱気に包まれました。やっさのかけ声、權伝馬の太鼓の音、人々の笑い声が響きわたり、夏の夜を彩りました。

また、7月30日は、忠海駅前で忠海天神夜市も開催されました。天神夜市といえば、地域の人々の手作りの夜店。どこかホットするおもてなしが魅力です。

それぞれの地域の個性が出る夏祭り。来年も楽しみです。



## 權伝馬&花火で盛り上がる！

8月27日、高崎町で第32回たけはら夏まつりが開催されました。

午後から權伝馬競漕が行われ、市内外から参加の全10チームが力の限り漕ぎました。企業の社員や中学生、女性で構成されたチームなど多彩な顔ぶれがそろい中、優勝したのは、J-POWERグループの社員チーム「J's」。息のあったチームワークで頂点に立ちました。

また、夜は花火大会が開催され、3201発の花火が夜空に打ち上げられました。最後に連続して打ち上げられた、降り注ぐような大輪の花火に、観客は大きな拍手を送りました。